

題材名『つないで どんどん』

（全2時間）

〔題材について〕

○身近にある新聞紙を手や体全体を使って、切ってつないだり、並べたりしてつくることができる。

○新聞紙を切ってつないだり、並べたりすることで変化した形の面白さに気づくことができる。

〔本時のめあて〕

◎新聞紙を切ってつないだり、ならべたりしてみよう！

本時の展開（全2時間 本時1／2）	
学 習 活 動	教 師 の 支 援（☆個別支援アイテム）
1 本時の学習内容を知る。 ・題材名やめあての確認 2 新聞紙の特性に気づく。 3 班ごとに活動場所に分かれて活動する。 ※2時間目の終末には、みんなで鑑賞活動をおこなう。	○教師が新聞紙をちぎって見せることで、新聞紙は縦方向には裂きやすく、横方向にはうまく裂けない特性があることに気づかせる。 ○時間を決めて、「1枚の新聞紙を細く長くちぎってみよう。」と呼びかけ実際に体験する。 ☆活動が広がらない児童には、他の班の児童の活動の様子を見せる。 ○鑑賞活動は、その場でおこなう。新聞紙は、ゴミにせず、丸めてボールなどにして学級で活用させる。

〔成果と課題〕・・・ヒット題材にするためには？

- ・今回2年生は、活動場所を多目的ホールに設定した。1月の寒い時期であること、指示が通りやすいことからであった。が、昨年度のように体育館でおこなうととって、ダイナミックな活動ができたのではないかと考えられる。ちょうど5年生も新聞紙を使った活動をされていて、よい意味では活動の広がりがあったが、反対に本時のねらいからは、外れてしまった児童がいた。学年間の調整をきちんとおこないたい。
- ・材料を新聞紙とメンディングテープに2種類だけにしたが、材料を限定することは、低学年の造形遊びにとって発想を広げるのによいことがわかった。また、新聞紙の特性を授業の導入で扱ったことは、どんどんつなげるという活動の支えになった。

写真・資料

